

May Newsletter

~母の日によせて 婦人より~



家族、教会、自分が置かれている場所での「お母さん」という召しを受けて、最近改めてこの言葉が言うように、品性を磨くことの大事さを神様から教わりました。自分の足りないところを示されて、母の日をテーマに書くにあたり、これからの自分の願いを書きました。

あなたがたは、髪を編んだり、金の飾りをつけたり、着物を着飾るような外面的なものでなく、むしろ、柔和で穏やかな霊という朽ちることのないものを持つ、心の中の隠れた人がらを飾りにしなさい。これこそ、神の御前に価値あるものです(1ペテロ3:3-4)。

人を通して現わされる神様の栄光が、この世の中での地位やお金、外見や持ち物、目に見えるものではなく、その人が持つ、喜び、優しさ、謙遜、寛容という品性を通して神様が現わされること。イエス様の栄光を褒めたたえる時、この地上での姿や外見によってではなく、聖書に書かれている、様々な場面、出来事でのイエス様の言動や対応に現わされるイエス様の素晴らしく、偉大な品性を見るときです。

同じように、私の人生を通して、少しでもイエス様に似た品性を持って、「お母さん」という役割を全うできるように、さらに様々な訓練や体験を通して磨かれて行きたいです。それが神様にとって一番価値のあることで、この品性だけを持って、天国に入ることができるからです。(R.L)



教会に導かれる前まで、私は母との関係がうまくいっていませんでした。ティーンエイジャーの頃から始まり、母との間になんともじっくり行かない確執のようなものがありました。私はそのような感情を持って母を見ていたので、素直に母を好きと表現することもなければ、そう思うこともありませんでした。

人生の中で問題に直面し、明日の生活さえ危ぶまれるような状態の中で、私は教会に導かれました。イエスさまが私の罪のために十字架にかけられ、地獄に下り、そして復活されたことを、私は何度もメッセージの中で聞きました。

「イエスさまが私の罪を赦してくださったなら、私も母を赦さなければならぬ。」

最初は、そんな義務的な思いから始まりました。

でも神さまは、いろいろな会話や出来事を通して、私の一方的な否定的な思い込みに気づかせてくださいました。母は愛情がなかったのではなく、ただ表現することがとても不器用だったのだということ、少しずつ見せてくださったのです。

今振り返ると、問題があったのは母だけではなく、私自身の心の見方にも大きな偏りがあったのだと気づかされました。

もちろん、すべてが一瞬で変わったわけではありません。でも、イエスさまの赦しを知った時から、少しずつ私の心も変えられていきました。

そして今は、以前のような苦しさやわだかまりだけではなく、「母もまた、一生懸命生きていたのだ」という思いを持って見るできるようになりました。

神さまは、人との関係の中にある深い傷や誤解にも触れてくださり、時間をかけて癒してくださるお方。神さまの愛が単に私自身を愛して下さっているという受け身のものだけでなく、私を通してその愛を流して下さる大きな愛に感謝です。(J.K)

互いに親切にし、優しい心で赦し合いなさい。神も、キリストにおいてあなたがたを救ってくださったのです(エペソ4:32)。

母の日の子どもクラブ(毎週日曜11am~12:30pm)の時間に、牧師婦人の提案で子どもたちと母の日のカード作りのクラフトを行い、みんなで楽しい時間を過ごしました。

女性として、母として、子育てについて、どのようにしていったら良いのかわからないことがたくさんありますが、礼拝のメッセージを通してこうしたら良いということを知っていただいたり、牧師婦人からアドバイスをたくさんいただきました。毎日の生活に役立てる子育てについてもたくさん教えていただいています。日々、神様、教会に助けられ守られています。ありがとうございます。(H.S)



アメリカに来てから子供を授かり母親になりました。幼少時代に母を亡くして育ったので母親を知らず母親ってどんな人なのかと子育てに戸惑うことがありました。

そんな時にダヴァール教会によばれました。

神様が牧師夫人をとおして母親の模範を示して下さいました。

親である私が気づいていなかった子供達の

性格や神様から与えられている召しのこと

一緒に生きること、間違っている時には愛をもって叱ること、子供は神様から預かっている自分の育てたいように育てるのではなく神様が育てて欲しいように育てることを教えていただきました。

教会に来ている子供達と共に成長して今までこれたことそして、親子で神様の子供として生きるように変えられたことを神様と教会の霊の母である牧師夫人に感謝します。

私自身も教会のお母さんの一人としてこれからも教会の子供達を見守っていきたくです。(K.I)



私はDavar教会に来て、たくさんの感謝がありますが、中でも牧師夫人という霊のお母さんの元に導かれたことを神様に感謝しています。

Davarに来てからずっと変わらず、赦すこと、受け入れること、仕えること、謙遜であること、身をもって教えて頂いているし、良いところ、直したらいいところを守りながら見捨てず、教え励まし続けて下さっています。

私自身、お母さんとして子どもに教えたり、叱ることは大変な時間と労力だと分かるので、それを私や他の方々に愛をもって毎日されている牧師夫人にこの母の日に際して感謝します。(H.N)

わが子よ。あなたの父の命令を守れ。あなたの母の教を捨てるな(箴言6:20)。



*2026年5月、母の日は教会で母が中心となりたこ焼きを作りました。